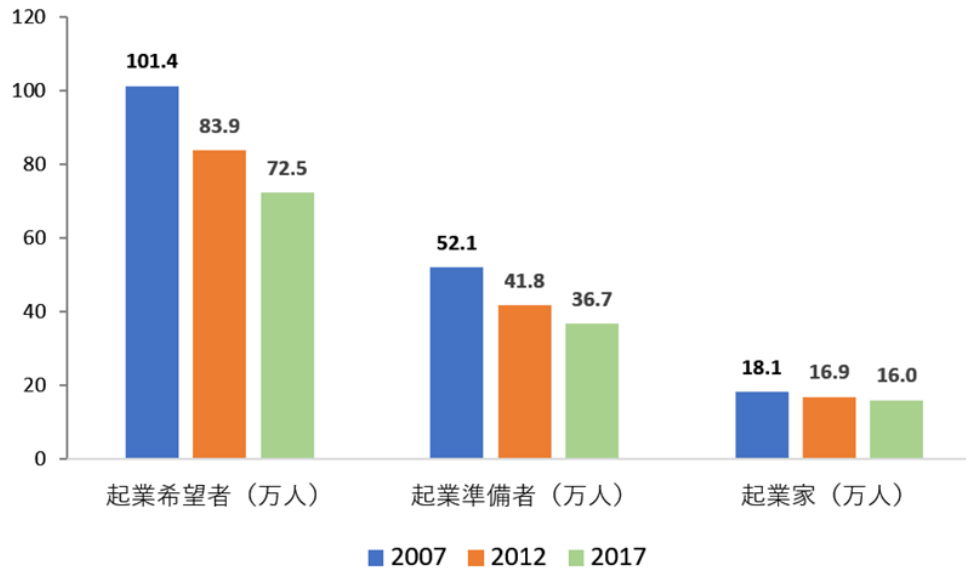


## 起業・副業の現状と課題

# データで見る起業の実態

起業家精神が減少している

起業の担い手の推移（万人）



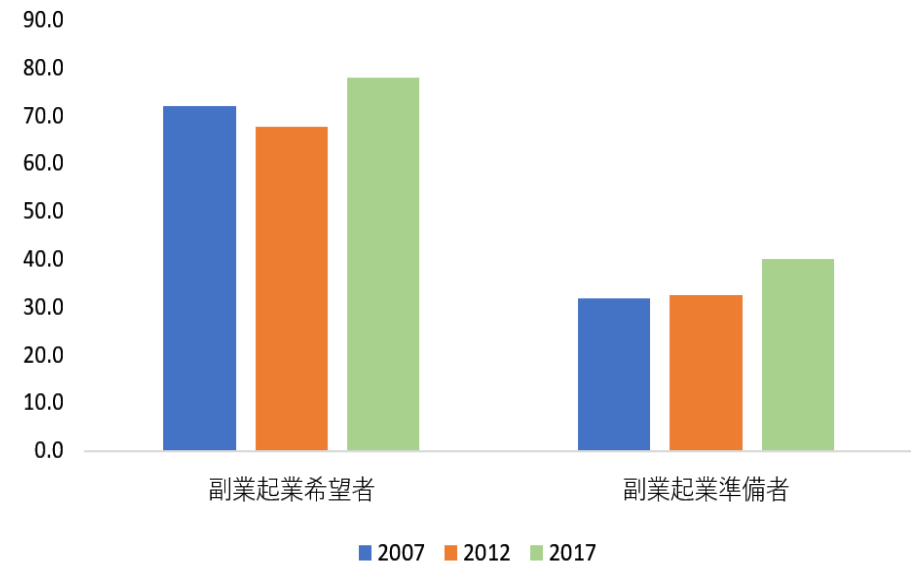
出所) 中小企業庁「中小企業白書」

起業家：過去1年間に職を変えた又は新たに職についた者のうち、現在は「会社等の役員」又は「自営業主」と回答し、かつ「自分で事業を起こした」と回答した者。副業としての起業家は含まれていない。

副業としての起業希望者は増加している

副業起業希望者や副業起業準備者の増加は、多様な働き方の登場による新たな起業の形を生み出している。

副業起業希望者・副業起業準備者の推移（万人）



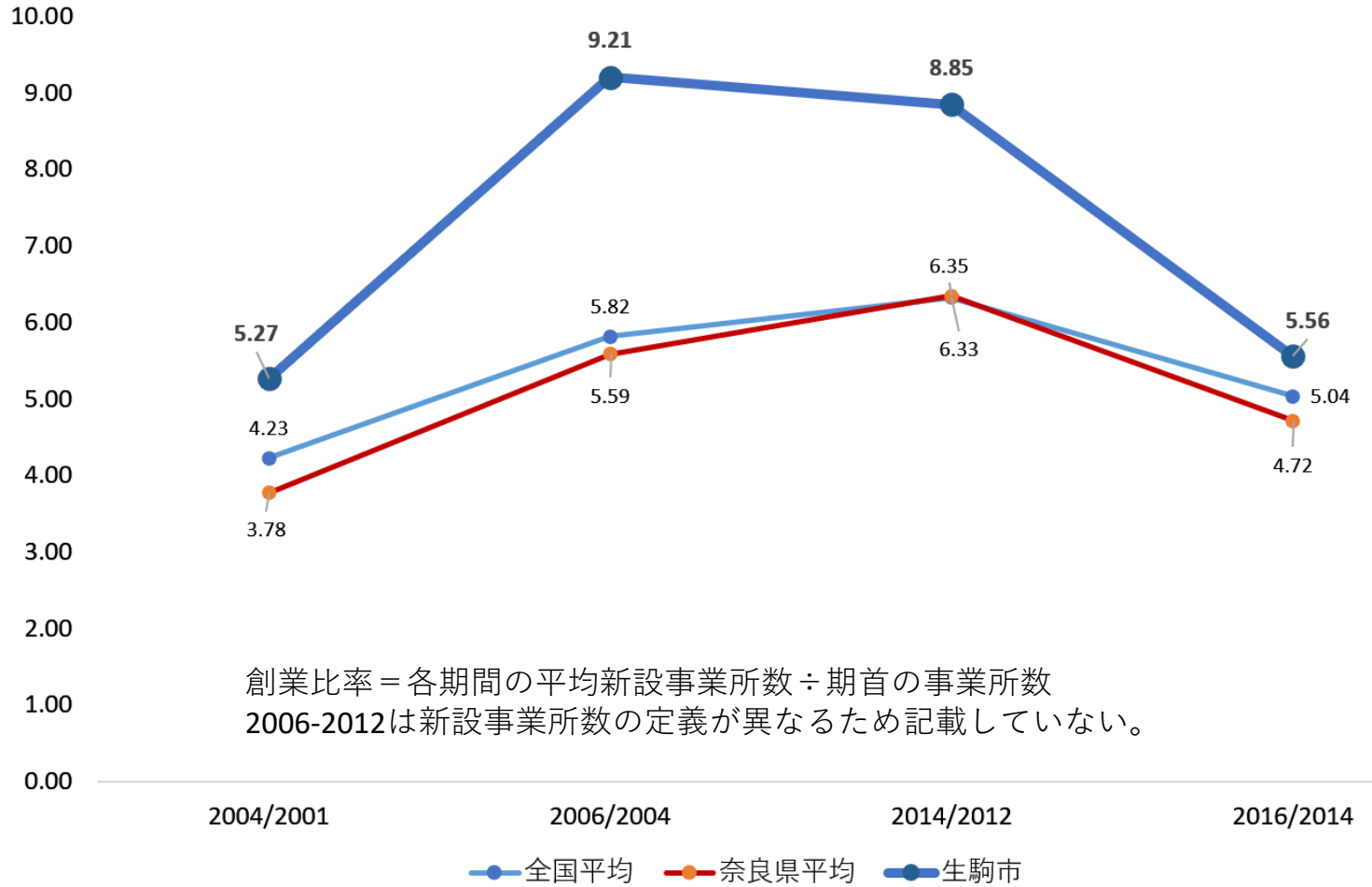
出所) 中小企業庁「中小企業白書」

副業起業希望者：有業者のうち「現在の仕事のほかに別の仕事もしたい」かつ「自分で事業を起こしたい」を回答した者

副業起業準備者：副業起業希望者のうち「（仕事を）探している」又は「開業の準備をしている」と回答した者

# 生駒市の起業動向

## 創業比率の推移（％）



出所) RESAS

## 奈良県下市の起業状況の比較

### 創業比率の比較（％）

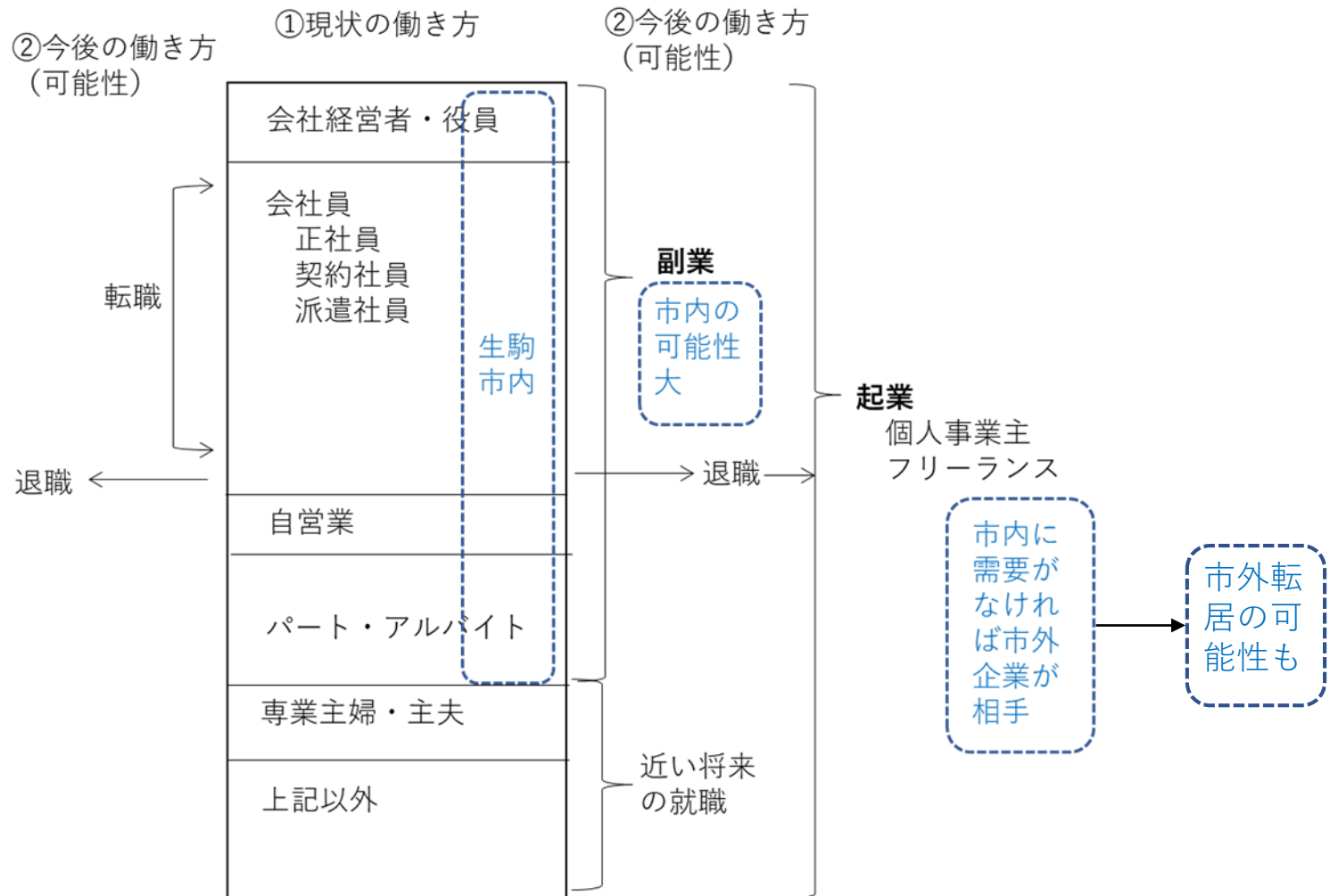
	2004/2001	2006/2004	2014/2012	2016/2014
全国平均	4.23	5.82	6.33	5.04
奈良県平均	3.78	5.59	6.35	4.72
奈良市	6.09	8.99	7.67	5.53
大和高田市	2.06	4.58	4.86	4.06
大和郡山市	4.44	5.08	7.20	4.82
天理市	2.87	7.40	4.35	4.28
橿原市	5.15	4.00	7.73	5.62
桜井市	2.53	4.17	4.68	3.49
五條市	1.26	2.85	4.59	3.00
御所市	1.43	2.95	4.31	2.40
<b>生駒市</b>	<b>5.27</b>	<b>9.21</b>	<b>8.85</b>	<b>5.56</b>
香芝市	6.27	9.76	7.83	6.57
葛城市	0.00	0.00	6.07	3.81
宇陀市	0.00	0.00	4.43	3.52

創業比率 = 各期間の平均新設事業所数 ÷ 期首の事業所数

2006-2012は新設事業所数の定義が異なるため記載していない。

# アンケート結果から見る起業・副業

「新たなビジネスの担い手」として、さらに「生駒市を活性化させる人材」として、生駒市における「起業」「副業」の可能性を考えていく。

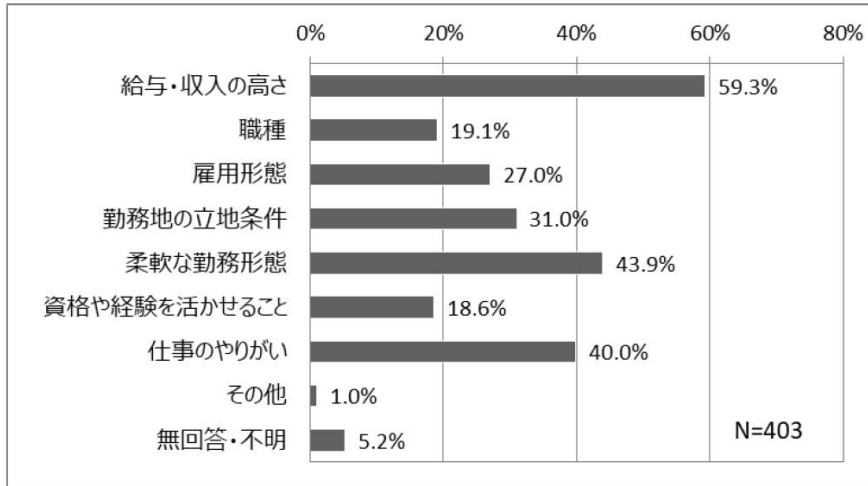


# ① 生駒市民の「副業」に関する意識

## 生駒市民は「働き方」を考える際に何を重視しているか

・働き方考える際に重視する条件（3つまで選択）

・働き方考える際に重視する条件×男女のクロス集計



回答数（複数回答）	全体		男性		女性	
	403	245.2%	179	243.0%	222	247.3%
給与・収入の高さ	239	59.3%	114	63.7%	124	55.9%
職種	77	19.1%	43	24.0%	34	15.3%
雇用形態	109	27.0%	31	17.3%	77	34.7%
勤務地の立地条件	125	31.0%	48	26.8%	77	34.7%
柔軟な勤務形態	177	43.9%	56	31.3%	121	54.5%
資格や経験を活かせること	75	18.6%	38	21.2%	37	16.7%
仕事のやりがい	161	40.0%	94	52.5%	66	29.7%
その他	4	1.0%	3	1.7%	1	0.5%
無回答・不明	21	5.2%	8	4.5%	12	5.4%

「給与・収入を高さ」が59.3%で最も多い。次に「柔軟な勤務形態」43.9%、「勤務地の立地条件」31.0%と続く。

・特に女性が重視する条件に着目すると、「給与・収入の高さ」とともに「柔軟な勤務形態」が高く、「雇用形態」、「勤務地の立地条件」がこれに次ぐ。

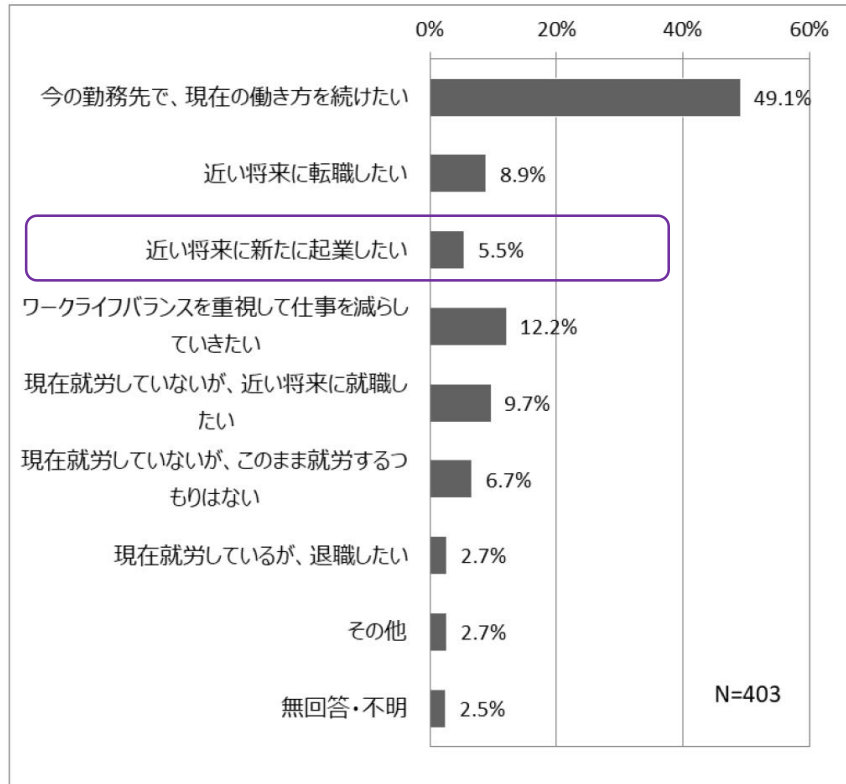
・上記の「柔軟な勤務形態」、「雇用形態」、「勤務地の立地条件」といった点は地元である生駒市での仕事へのニーズとも読み取ることができる。



希望する「働き方」が起業・副業に結びつくか？

# 生駒市民は今後どのような働き方を希望しているか

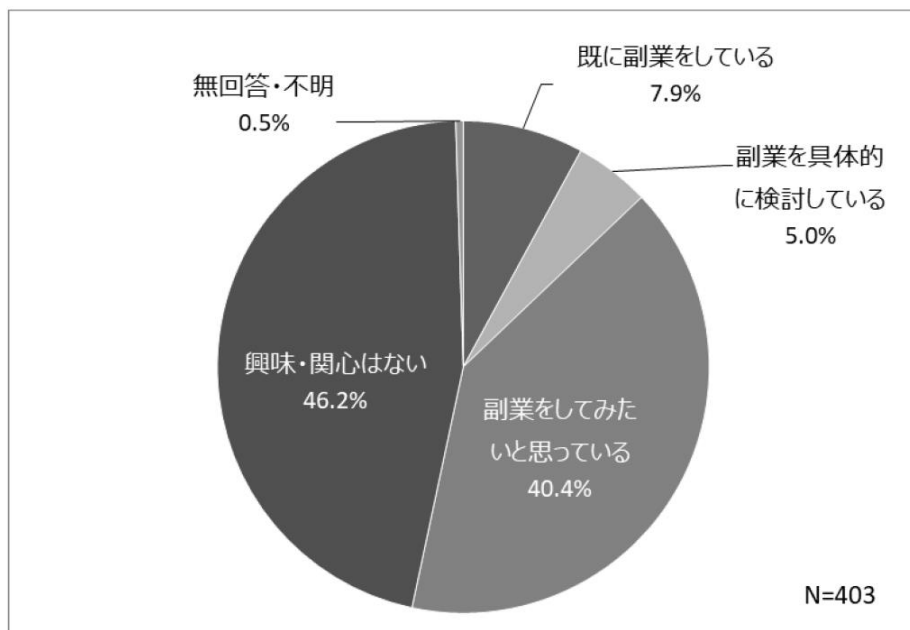
## ・今後希望する働き方と男女のクロス集計



回答数	全体		男性		女性	
	403	100.0%	179	100.0%	222	100.0%
今の勤務先で、現在の働き方を続けたい	198	49.1%	99	55.3%	98	44.1%
近い将来に転職したい	36	8.9%	13	7.3%	23	10.4%
近い将来に新たに起業したい	22	5.5%	13	7.3%	9	4.1%
ワークライフバランスを重視して仕事を減らしていきたい	49	12.2%	20	11.2%	29	13.1%
現在就労していないが、近い将来に就職したい	39	9.7%	5	2.8%	34	15.3%
現在就労していないが、このまま就労するつもりはない	27	6.7%	12	6.7%	15	6.8%
現在就労しているが、退職したい	11	2.7%	4	2.2%	7	3.2%
その他	11	2.7%	7	3.9%	3	1.4%
無回答・不明	10	2.5%	6	3.4%	4	1.8%

## 生駒市民は「副業」をどのようにとらえているか

### ・副業に対する考え方



### ・男女別に見た副業に対する考え方

回答数	全体		男性		女性	
	403	100.0%	179	100.0%	222	100.0%
既に副業をしている	32	7.9%	21	11.7%	11	5.0%
副業を具体的に検討している	20	5.0%	9	5.0%	11	5.0%
副業をしてみたいと思っている	163	40.4%	75	41.9%	87	39.2%
興味・関心はない	186	46.2%	74	41.3%	111	50.0%
無回答・不明	2	0.5%	0	0.0%	2	0.9%

- ・「既に副業をしている」が7.9%、「副業を具体的に検討している」5.0%である。
- ・「興味・関心はない」が46.2%でトップであるが、「副業をしてみたいと思っている」が40.4%と注目に値する。
- ・男女のクロスでは「すでに副業をしている」で男女差があるが、「副業を検討している」、「副業をしてみたいと思っている」については男女差は無い。
- 今後の副業を考える際には、「副業をしてみたいと思っている」という層の動向を男女差無く、注目する必要がある。



## 職業と副業との関係は

### ・ 副業意向と職業のクロス集計

回答数	全体		既に副業をしている		副業を具体的に検討している		副業をしてみたいと思っている		興味・関心はない		無回答・不明	
	403	100.0%	32	7.9%	20	5.0%	163	40.4%	186	46.2%	2	0.5%
会社経営者・役員	21	100.0%	5	23.8%	1	4.8%	7	33.3%	8	38.1%	0	0.0%
会社員（正社員・契約社員・派遣社員）	175	100.0%	10	5.7%	14	8.0%	91	52.0%	60	34.3%	0	0.0%
パート・アルバイト	59	100.0%	4	6.8%	2	3.4%	22	37.3%	31	52.5%	0	0.0%
公務員	39	100.0%	1	2.6%	0	0.0%	17	43.6%	21	53.8%	0	0.0%
自営業	26	100.0%	7	26.9%	2	7.7%	7	26.9%	10	38.5%	0	0.0%
専門学校生・短大生	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
大学生・大学院生	3	100.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	66.7%	0	0.0%
専業主婦・主夫	41	100.0%	3	7.3%	0	0.0%	10	24.4%	27	65.9%	1	2.4%
家事手伝い	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
無職	29	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	27.6%	21	72.4%	0	0.0%
その他	7	100.0%	2	28.6%	0	0.0%	1	14.3%	4	57.1%	0	0.0%
無回答・不明	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%

- ・ 「既に副業をしている」の割合が「自営業」（26.9%）、「会社経営者・役員」（23.8%）と高くなっている。
- ・ 「副業をしてみたいと思っている」の割合は、「会社員（正社員・契約社員・派遣社員）」（52.0%）、「公務員」（43.6%）、「パート・アルバイト」（37.3%）で、今後の広がりが予想される結果である。

## どの勤務先業種が副業をしているのか、副業をしてみたいと思っているか

### ・副業意向と勤務先業種のクロス集計

回答数	全体		既に副業をしている		副業を具体的に検討している		副業をしてみたいと思っている		興味・関心はない		無回答・不明	
	403	100.0%	32	7.9%	20	5.0%	163	40.4%	186	46.2%	2	0.5%
農・林業	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉱業・採石業・砂利採取業	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
建設業	14	100.0%	1	7.1%	0	0.0%	9	64.3%	4	28.6%	0	0.0%
製造業	46	100.0%	0	0.0%	3	6.5%	29	63.0%	14	30.4%	0	0.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
情報通信業	14	100.0%	2	14.3%	0	0.0%	9	64.3%	3	21.4%	0	0.0%
運輸業・郵便業	11	100.0%	1	9.1%	0	0.0%	2	18.2%	8	72.7%	0	0.0%
卸売業・小売業	42	100.0%	6	14.3%	5	11.9%	19	45.2%	12	28.6%	0	0.0%
金融業・保険業	14	100.0%	0	0.0%	2	14.3%	8	57.1%	4	28.6%	0	0.0%
不動産業・物品賃貸業	5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	4	80.0%	0	0.0%
学術研究または専門・技術サービス業	12	100.0%	3	25.0%	0	0.0%	1	8.3%	8	66.7%	0	0.0%
宿泊業・飲食サービス業	4	100.0%	2	50.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%
生活関連サービス業	10	100.0%	1	10.0%	1	10.0%	3	30.0%	5	50.0%	0	0.0%
教育・学習支援業	20	100.0%	0	0.0%	2	10.0%	7	35.0%	11	55.0%	0	0.0%
医療・福祉	52	100.0%	6	11.5%	3	5.8%	16	30.8%	27	51.9%	0	0.0%
複合サービス事業	5	100.0%	1	20.0%	0	0.0%	1	20.0%	3	60.0%	0	0.0%
サービス業（他に分類されないもの）	30	100.0%	4	13.3%	2	6.7%	14	46.7%	10	33.3%	0	0.0%
公務（他に分類されるものを除く）	29	100.0%	1	3.4%	1	3.4%	12	41.4%	15	51.7%	0	0.0%
分類不能の産業	7	100.0%	1	14.3%	0	0.0%	3	42.9%	3	42.9%	0	0.0%
無回答・不明	82	100.0%	3	3.7%	1	1.2%	24	29.3%	52	63.4%	2	2.4%

- ・「既に副業をしている」の割合は「宿泊業・飲食サービス業」（50.0%）、「学術研究または専門・技術サービス業」（25.0%）で高くなっている。
- ・「副業をしてみたいと思っている」の割合は、「建設業」・「情報通信業」（64.3%）、「製造業」（63.0%）「金融・保険業」（57.1%）で高くなっている。

## どの職業が副業をしているか、副業をしてみたいと思っているか

### ・副業意向と職種のクロス集計

回答数	全体		既に副業をしている		副業を具体的に検討している		副業をしてみたいと思っている		興味・関心はない		無回答・不明	
	403	100.0%	32	7.9%	20	5.0%	163	40.4%	186	46.2%	2	0.5%
総務・人事・経理等	25	100.0%	2	8.0%	0	0.0%	10	40.0%	13	52.0%	0	0.0%
一般事務・受付・秘書	60	100.0%	2	3.3%	3	5.0%	30	50.0%	25	41.7%	0	0.0%
営業	36	100.0%	3	8.3%	2	5.6%	21	58.3%	10	27.8%	0	0.0%
企画・広報	21	100.0%	2	9.5%	4	19.0%	10	47.6%	5	23.8%	0	0.0%
接客サービス	28	100.0%	3	10.7%	1	3.6%	12	42.9%	12	42.9%	0	0.0%
販売	16	100.0%	2	12.5%	1	6.3%	7	43.8%	6	37.5%	0	0.0%
調査分析・特許法務などの事務系専門職	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
研究開発・設計・SEなどの技術系専門職	23	100.0%	1	4.3%	1	4.3%	14	60.9%	7	30.4%	0	0.0%
医療・教育関係の専門職	47	100.0%	3	6.4%	3	6.4%	17	36.2%	24	51.1%	0	0.0%
現場管理・監督	11	100.0%	1	9.1%	0	0.0%	2	18.2%	8	72.7%	0	0.0%
製造・建設の作業	9	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	55.6%	4	44.4%	0	0.0%
輸送・運転	3	100.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%
警備・清掃	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
その他	39	100.0%	8	20.5%	3	7.7%	12	30.8%	16	41.0%	0	0.0%
無回答・不明	80	100.0%	3	3.8%	2	2.5%	20	25.0%	53	66.3%	2	2.5%

- ・「既に副業をしている」の割合は、「輸送・運転」（66.7%）、「その他」（20.5%）、「販売」（12.5%）で高くなっている。
- ・「副業をしてみたいと思っている」の割合は、各職種で総じて高く、特に「警備・清掃」（66.7%）、「研究開発・設計・SEなどの技術系専門職」（60.9%）、「営業」（58.3%）で高くなっている。

## 生駒市民はどのような副業を行い、あるいは考えているか

あなたの現在の副業、またはこれから考えている副業はどのようなものですか（あてはまるもの全て選択）

回答数（複数回答）	215	169.3%
eコマース（インターネット販売・ネットショップ販売等）	38	17.7%
I T系技術職種	11	5.1%
Webクリエイティブ（Webデザイナー、プランナー、プロデューサー等）	11	5.1%
Webサイト運営（ブログ運営、YouTube等）	21	9.8%
クリエイティブ系（デザイナー、各種クリエイター）	26	12.1%
専門職	30	14.0%
フードデリバリー・配達	4	1.9%
ライター・Webライター	13	6.0%
医療系専門職種	12	5.6%
営業	7	3.3%
教員・講師・インストラクター	24	11.2%
建築・土木系・技術職種	4	1.9%
顧客サポート・サービス	15	7.0%
事務・アシスタント（データ入力含む）	37	17.2%
商品開発・研究	15	7.0%
製造（組立・加工）	11	5.1%
配送・倉庫管理・物流	11	5.1%
販売・サービス系職種	32	14.9%
福祉系専門職（介護福祉士・ヘルパー等）	6	2.8%
その他	22	10.2%
無回答・不明	4	1.9%

- ・「eコマース」（17.7%）がもっとも高くなっている。
- ・さらに「事務・アシスタント（データ入力含む）」（17.2%）、「販売・サービス系職種」（14.9%）、「専門職」（14.0%）と続き、幅広い仕事の対象となっている。

## 生駒市民は副業の目的をどのように考えているか

どのような副業の目的をお持ちですか？（あてはまるもの全て選択）

回答数（複数回答）	215	265.6%
様々な分野の人とのつながりができるから	44	20.5%
本業では得ることが出来ない新しい知見やスキル、経験を得たいから	63	29.3%
副収入（趣味等に充てる資金）を得たいから	131	60.9%
副業で好きなことをやりたいから	57	26.5%
生活するには本業の収入だけでは不十分だから	52	24.2%
自分が活躍できる場を広げたいから	66	30.7%
時間のゆとりがあるから	21	9.8%
現在の職場で働き続けることができるか不安があるから	37	17.2%
現在の仕事での将来的な収入に不安があるから	50	23.3%
会社以外の場所でやりがいを見つけたいから	43	20.0%
その他	1	0.5%
無回答・不明	6	2.8%

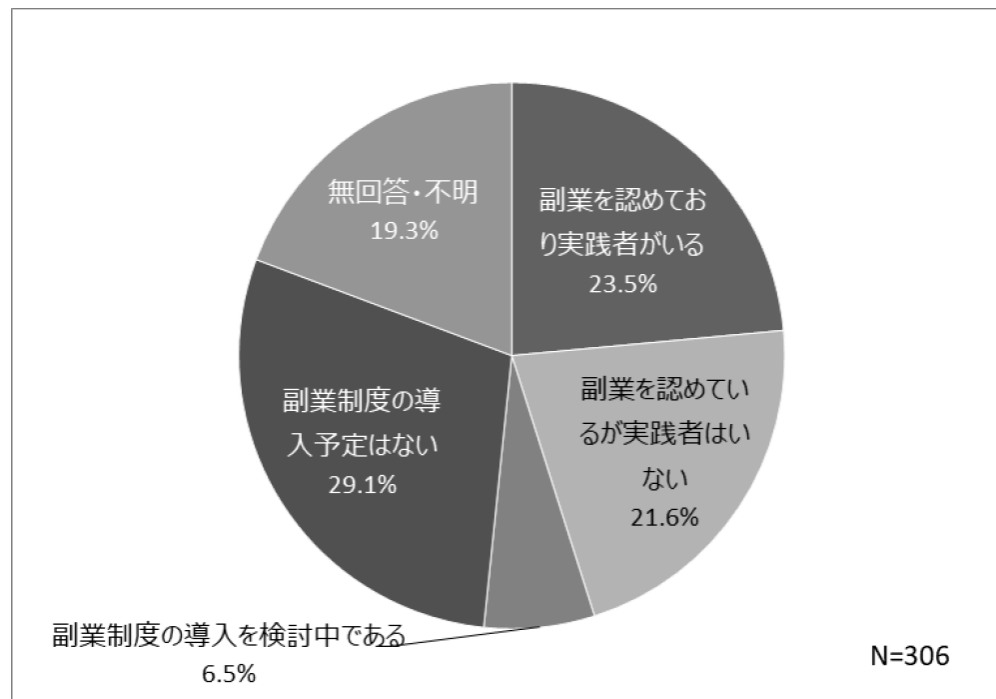
・「副収入（趣味等に充てる資金）を得たいから」（60.9%）がもっとも高く、次いで「自分が活躍できる場を広げたいから」（30.7%）、「本業では得ることが出来ない新しい知見やスキル、経験を得たいから」（29.3%）となっている。

→スキルアップ・自己実現などを副業の目的としている人も一定数存在している。

## ② 市内事業者の「副業」に関する意識

### 副業に対して市内事業者はどのように対応しているか

社員の副業について教えてください



「副業を認めており実践者がいる」23.5%、「副業を認めているが実践者はいない」21.6%、「副業制度の導入を検討中である」6.5%となっている。

→市内の事業者で副業の容認は45.1%で、検討中を合わせると50%を超える。

## 業種によって副業への対応は異なるか

・社員の副業について×業種（事業所概要）のクロス集計

回答数	全体		①卸売業		②小売業		③飲食・宿泊業		④サービス業		⑤その他	
	306	100.0%	9	100.0%	40	100.0%	40	100.0%	13	100.0%	122	100.0%
副業を認めており実践者がいる	72	23.5%	0	0.0%	9	22.5%	8	20.0%	7	53.8%	33	27.0%
副業を認めているが実践者はいない	66	21.6%	5	55.6%	7	17.5%	8	20.0%	3	23.1%	28	23.0%
副業制度の導入を検討中である	20	6.5%	1	11.1%	4	10.0%	3	7.5%	1	7.7%	4	3.3%
副業制度の導入予定はない	89	29.1%	0	0.0%	14	35.0%	9	22.5%	2	15.4%	41	33.6%
無回答・不明	59	19.3%	3	33.3%	6	15.0%	12	30.0%	0	0.0%	16	13.1%

・業種ごとにみると、他の業種に比べて「サービス業」で「副業を認めており実践者がいる」の割合が53.8%と最も高くなっている。

・「卸売業」では「副業を認めているが実践者はいない」の割合が高くなっている。

・「小売業」、「その他の事業所」では「副業制度の導入予定はない」の割合が高くなっている。

※サンプル数の制約で、製造業の比率が分からない（「⑤その他」に含まれている）